



市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどり清流

2004年 5月発行 第30号

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

☎ 591-7376
akito.n@m3.dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどり清流

2004年 5月発行 第30号

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん **赤旗**

日刊紙 1か月 2900円
日曜版 1か月 800円

お申し込みは
南多摩事務所
☎042-374-4384
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡
南平駅
中野あきと事務所

マダデキ

北野街道

住民運動と地域の要求

力を合わせて住みよい街に

いま市内では、大型マンションや変電所の建設、緑地保全などにまつわる問題が各地で起きています。また、地域全体が高齢化という問題に直面し、交通手段の確保などの問題も切実になってきています。

ただ、こうした市内の運動をとうして感じられるのは、「住民の生活環境を守る」という、行政の姿勢の重要さです。そうした市政の確立が強く求められています。

巨大マンション建設問題

「こういう問題はもうごめんだ」

富士電機跡地の巨 大マンション建設。同時に住民の皆さんは「こういう問題は二度と持ち込ませてはいけない」と、高き制限を市のまちづくりのルールとして確立するよう、請願署名運動を始めています。

街並みも住環境も一変してしまうと、周辺の旭が丘の住民が長谷工との話し合いを続けてきました。六三〇、一四階建てなど、幾つかの修正が行なわれ合意が成立しました。（当初計画六八〇戸一七階

高き制限を求める運動が始まる

高き制限を求める運動が始まる

東京電力が工事再開を、今後決めてから、二回目の説明会が四月二十五日に行なわれましたが、住民と求めました。

席上、東電は、改善案の説明に入ろうとしましたが、「高幡の環境を守る会」などの住民は、過度に二度にわたる住民との合意を無視した工事の強

の話し合いは平行線をたどり、結論を見るには至りませんでした。

しかし東電は「地域の電力の安定供給」を理由に、あくまでも平成十七年の完成を主張し、明確な謝罪の態度も示さず、「強行しない」ことについて、確約を避ける態度に終始しました。

高幡地域の 変電所 建設問題

建設推進を前提とした
東電の計画案説明を押し返す

東豊田1丁目の区画整理地域

隣接住民が立ち上がる

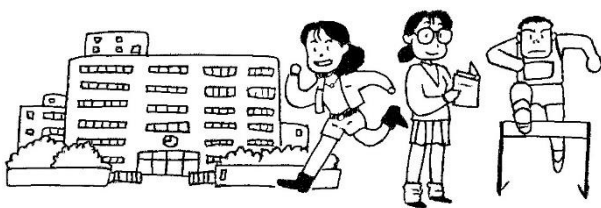
豊かな田園風景が残されていた東豊田一丁目地域は、いま、組合施工の区画整理が進み、風景もずいぶん変わってきています。

そんな中、盛り土、擁壁工事が、何の説明もなく行なわれたことに、隣接する住民の皆さんが強く抗議。相談を受けた中野あきと市議は、住民の皆さんと共に対市交渉を行ない、その結果工事を一時中断し、市と組合の

「良好な生活環境を守れ」

豊かな田園風景が残されていた東豊田一丁目地域は、いま、組合施工の区画整理が進み、風景もずいぶん変わってきています。

この区画整理事業は、「健全な市街地の形成」「公共の福祉」がうたわれ、一般的な民間開発とは違って公共性をもった事業として行なわれ、市も五億円を助成し、指導監督する立場にあります。住民の声にしっかりと対応することが求められています。



平山小・平山台小統廃合問題

『無理におしすすめるな』市議会へ新たな署名

統廃合を「強行しないように」と訴えた。市教育委員会への二度目の請願署名は、前回を大きく上回って、約1000名に達しました。しかし市教委は、署名の内容も請願書の陳述も、ほとんど審議しないまま、「統廃合計画」を採択しました。

「統廃合計画を考える地域協議会」では、今度は6月の市議会にむけて、計画を無理におしすすめないようにと訴える請願署名に取り組んでいます。

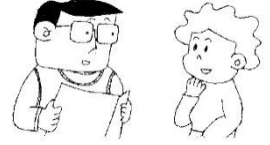
妻 イラクで人質になった人たちに対して、閣僚や与党幹部が「自己責任」などと云っているわね

夫 確かにどんな行動でも「自己責任」はある。でもそれは本人の自覚すべき問題であって、邦人の保護に責任を持つ政府の言うべき事ではないよ。

妻 外国ではそんな議論は笑い者になっているのね。パウエル米國務長官だって「日本人は誇りに思うべきだ」と云っている。

夫 NGO（非政府組織）や個人のボランティアは、以前から支援活動を地道に続けてきたんだ。給水活動だって一億円の費用で一〇〇〇トン以上を供給していた。自衛隊は四〇四億円の予算で八〇トンだそう。街の中で活動するボランティアに対して自衛隊は陣地の中だ。軍隊だから外に出ると狙われる。広大な陣地だけで沢山のお金が掛かったといわれている。

妻 外務省は撤退勧告を出したというけれど、「イラクをそこまで危険にしたのは誰なんだ」と云いたいわ。NGOの人たちは、自衛隊を派兵したら人道支援



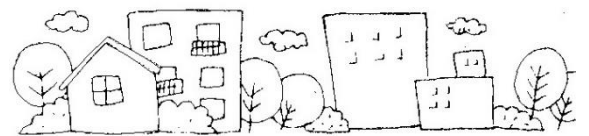
夫婦の問答 イラク人質事件 問われるのは政府の責任だよ

も危険になるって警告していたのよ。

夫 日本は中東に侵略したという歴史をもっていない。それに他国を侵略しないという日本の平和憲法は僕らが想像する以上知られている。だからイラクの人たちも、日本に大きな期待をもっていたんだ。ところが自衛隊を送ってアメリカの占領支配に加担し、憎しみをかってしまった。政府の派兵の「自己責任」こそ問われるべきだよ。

妻 人質の家族が当初、「自衛隊の撤退」を云ったら、「もうあいつらには何も教えてやるな」と怒った与党幹部がいたんだって。お上にたてつく者は許さなという感じね。国として果たすべき義務を投げ捨てて、被害者を加害者のように扱うことで、自分に向けられる責任を、すり替えようというねらいが見えるような気がするわ。

夫 戦禍の街でさまよう孤児のお母さん代わりになったり、劣化ウラン弾の調査に赴いたり、現地の真実を報道しようとしたジャーナリストこそ、誇りに思うべきだよ。

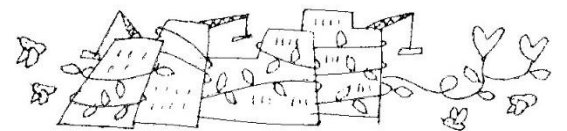


南平9丁目、平山地域のミニバス導入 「今秋にも走らせたい」と担当課長回答

南平9丁目などの住民の皆さんの強い要望であったミニバスの導入について、今秋実現の方向であることが明らかになりました。

これまで中野あきと市議は、実現にむけて議会や担当課への要望を行なってきましたが、最近の中野議員の聞き取りの結果、担当課長が回答しました。

具体的な路線の詳細やバス停の設置場所などは、これから自治会など地元の住民の皆さんと協議のうえ決めることになっています。



短 信

「教育委員会が決定すればそういう方向で意見はまとまってくる」。平山小と平山台小の統廃合で市教育委員会はそう強弁し、何回も説明会をもったと云いました。しかし説明会で示した資料なるものは、統廃合を全て良しとする一方的なものでした。統廃合にはメリットもあればデメリットもあるはず。結論先にありき。客観的な資料を示して保護者・住民と話し合うという姿勢は、そこにはありません▽東電は公益企業で電力の安定供給に責任があると主張します。ならば何をやってよいのか。電磁波の問題だけではありません。建設予定地は住民がよりよい環境を求めて犠牲を払った区画整理地域です。墓地などと同じ授損施設の変電所ができると聞いて、今では不動産屋が二の足を踏む地域になるうとしています。一方、市には「住民の合意を得て」と約束しておきながらです▽イラク人質事件に見え隠れする政府・与党の「お上にたてつくな」という態度。自治体、大企業、国のこんな風潮はごめんです。

みえ子のとびある記



◆前都議会議員 村松みえ子◆ ◆メーデーに参加して◆

今年も三多摩メーデーに参加しました。八千五百人が井の頭公園の会場に集まり「憲法改悪反対」「年金改悪反対」など、小泉政権への怒りと、「リストトラやめよ」の要求で熱気いっぱいでした。会場の入口では二十九年間、思想差別とたたかった石川島播磨重工の労働者が、「長い間のご支援ありがとうございます」の横断幕を掲げて、参加者を激励していました。

会社にも三多摩メーデーに参加すると子どもにまで嫌がらせをする。教員をしている奥さんの学校周辺に、嫌がらせのビラを貼るなど、石播重工の党員・活動家への攻撃はすさまじいものでした。しかし『人間の尊厳』をかけたたたかいは、ついに勝利し会社は謝罪、和解の覚書きもかちとりました。

会場に流れる「晴れた五月の」の歌声。握手でこの勝利をたたえる参加者と石播労働者の姿に、胸が熱くなりました。

長時間・過密労働、派遣、請け負いなど不安定な雇用形態が、若者や働く人々の将来や生活不安を増大させています。

快晴の今年のメーデー。「たたかいはこれから……」の決意の場となりました。